

【るもい農業情報広場】

令和4年8月4日

R4-8月臨時号

QRコードを読み取って  
アクセス!!!

## 今月の技術対策 (水稻編)

留萌農業改良普及センター

TEL: 0164-62-1779 FAX: 62-2474

E-mail: rumoi.nakanoukai1@pref.hokkaido.lg.jp



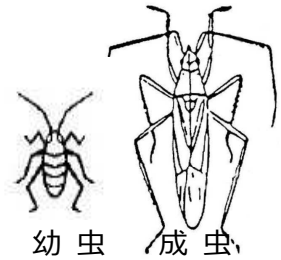
畑作・園芸編も  
HPで公開中!

### 1 カメムシ防除は間隔をあけず、斑点米発生を防止しよう!

8月1日付け情報でもお伝えしたとおり、**アカヒゲホソミドリカスミカメが多発傾向**です。また、8月3日に普及センターが管内の水田を調査したところ、7月下旬に防除を行った水田でも、すでにカメムシの侵入が確認されています。

カメムシに対する出穂期の基幹防除（1回目）は、ほとんどの水田で実施済みと思いますが、**2回目の防除は1回目の概ね7日後とし遅れないように実施**して下さい。

また、防除薬剤には残効性が高い、ジノテフラン剤、エチプロール剤、スルホキサフロル剤を使用して、斑点米被害を防止しましょう。



幼虫 / 成虫  
アカヒゲホソミドリ  
カスミカメ

### 2 追加防除も必要に応じて実施しましょう

今後も高温で経過すると、カメムシの加害が活発化、長期化する恐れがあります。2回目防除終了後も、すくい取りやフェロモントラップ調査、情報収集をしっかりと行ない、必要に応じて追加防除を実施しましょう。なお、調査の際は追加防除基準（表3）を参考にして下さい。

表3 アカヒゲホソミドリカスミカメ追加防除基準

品 種	要防除水準	
	捕虫網20回振り	フェロモントラップ
きらら397 ななつぼし、ゆめぴりか、 風の子もち、きたゆきもち、 きたふくもち、はくちょうもち	2頭	2.2頭/7日 (9.3頭/30日)

※追加防除予定日の2～3日前に確認

- ・すくい取りは、風の穏やかな日中に稲の穂をこするようにして実施
- ・すくい取りにくくなるため高温時は避けて実施

～高温時は、十分な水分補給と休憩を取りながら作業しましょう!～